



森林鉄道から日本一のゆずロードへ  
～ゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化～

祝日本遺産認定

# 中芸りんてつライブ2018

## 途 みち 立 た つ

● 4月22日(日)

開場: 14時 / 開演: 14時30分

● 会場

田野町ふれあいセンター

● 料金(全席自由)

前売券 3,000円 / 当日券 3,500円

● 出演

山下俊輔と仲間たち: 水野紗希、李令貴、小関佳宏  
北島ひとみ+タンゴデュオ: 淡路七穂子、喜多直毅  
Led grooveover: 宮脇佑、岡本和也  
坂野志麻  
豆電球(小松秀吉)

● 企画・制作

株式会社東京映画社

総合プロデュース: 百々立夫(東京映画社)

音楽プロデュース: 山下俊輔(元いちむじん)

● 問い合わせ(メールでも受け付けています)

株式会社東京映画社 安田サテライトオフィス/スタジオ TEL: 088-730-1769

E-mail: kochi-yasuda@eigasha.com

株式会社東京映画社 赤坂オフィス TEL: 03-3582-2726

● チケット取り扱い

株式会社東京映画社 安田サテライトオフィス/スタジオ

(チケット郵送および当日取り置き可)

# 中芸りんてっライブ2018

今回のライブのタイトルを『途立<sup>みちた</sup>つ』としました。言い換えれば「旅立<sup>みちた</sup>つ」という言葉になります。2017年4月に『森林鉄道から日本一のゆずロードへ』というテーマで中芸五町村が日本遺産に認定されました。今回のライブはそのお祝いの意味合いも兼ねて行うもので、あえて「旅立<sup>みちた</sup>つ」という言葉を使わずに「途立<sup>みちた</sup>つ」としたのは、森林鉄道の「道」、ゆずロードの「ロード」という言葉にこだわりたいと思ったからです。「旅に出る」というよりもむしろ森林鉄道やゆずロードの「途<sup>みち</sup>」にこだわり、この「途<sup>みち</sup>」から始め、この「途<sup>みち</sup>」を歩む、そんな思いをタイトルに込めたかったのです。高知県出身のミュージシャンをメインに、本年より年一回、中芸の地でライブを行っていく予定です。地域の皆さんのお力もお借りしながら、中芸地域恒例の音楽イベントにしていきたいと考えております。

(株)東京映画社 百々立夫

## プログラム(14:00開場) 第一部(14:30~15:20)

- 豆電球(小松秀吉) : 安田町生まれ。故郷を歌い続けるご当地シンガーソングライター。  
坂野 志麻 : 安芸市生まれ。県内で活躍を続けるアコーディオン奏者。  
北島ひとみ+タンゴデュオ(淡路七穂子、喜多直毅)  
北島 ひとみ : 安芸市生まれ。我国で数少ないアルゼンチンタンゴ歌手。  
淡路 七穂子 : 我国のタンゴコンサートには欠かせないピアニスト。  
喜多 直毅 : 本場アルゼンチンにてタンゴ奏法を学び国内外で活躍するヴァイオリニスト。

## 第二部(15:30~16:20)

- Led grooover(宮脇佑、岡本和也 2017年度日本ギター重奏コンクール第1位。)  
宮脇 佑 : 室戸市生まれ。新進気鋭、才気溢れる若手クラシックギター奏者  
岡本 和也 : 高知市生まれ。新進気鋭、才気溢れる若手クラシックギター奏者  
山下俊輔と仲間たち(水野紗希、李令貴、小関佳宏)  
山下 俊輔 : 高知市生まれ。2006年にギターデュオ「いちむじん」としてメジャーデビュー。「龍馬伝」、「サムライせんせい」の音楽を手がける等幅広い分野で活躍中。  
水野 紗希 : 2015年まで「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」のメンバー。数々のアーティストのレコーディングやライブに参加。  
李 令貴 : ドラマー、パーカッション奏者、打楽器奏者として国内外の様々なオーケストラ等のライブやレコーディングに参加。  
小関 佳宏 : クラシックギター奏者、作曲・編曲家。多数の楽曲がテレビ番組や映画、CM等に起用。

(株)東京映画社 安田サテライトオフィス/スタジオ

2014年春に安田町にサテライトオフィス/スタジオを構える。以来4年間撮影し続けてきた中芸地域の4K映像を「山下俊輔と仲間たち」の演奏とのコラボレーションで紹介する。